

令和3年度の事業報告

4月 1日	会員募集通知(年間通して)
5月11日	第1回正副部長会議
6月	第1回理事会(書面開催) ※定期総会中止
7月 1日	第1回広報部会
8月 1日	広報「秋吉台」第22号発行
9月14日	第2回広報部会
10月12日	第2回正副部長会議
11月 1日	広報「秋吉台」第23号発行、
11月21日	会員研修(岩国市) 「ポスター・書道コンクール」展示会(11月～1月) 秋吉公民館、大田公民館、大嶺公民館
1月18日	第1回環境調査部会(秋芳洞照明植生の視察)
2月25日	第2回理事会
3月18日	山焼き後の清掃活動と秋吉台散策



会員研修
(岩国市・とことこトレイン)



山焼き後の清掃活動と観察会

令和3年度決算

収入の部		(円)
会費	個人・団体	314,000
補助金	市補助金	150,000
雑収入	貯金利子等	3
参加負担金	研修参加負担金	120,000
繰越金	前年度繰越金	241,123
合計		825,126
支出の部		(円)
事業費	保全活動費	2,744
	普及活動費	214,470
	研修活動費	232,128
事務費	消耗品外	44,865
会議費	雑費外	0
交際費	慶弔費外	0
負担金	日本自然保護協会等負担金	21,000
予備費		0
合計		515,207

差引残高 309,919円(翌年度繰越金)

講演会

秋芳洞と景清穴での新発見と照明植生について

村上 崇史(美祢市文化財保護課)

【秋芳洞での発見】

2022年2月26日の午前、山口大学洞穴研究会と秋吉台SDGsの会代表の藤川勇氏及び、美祢市文化財保護課の村上は、美東町極寒山に開口する「葛ヶ穴」(くずがあな)と、その下流側に位置する秋芳洞「第七新洞」への連絡洞への入洞に成功し、調査を実施した。この連絡洞は1999年の異常湧水時に発見されたが、すぐに水没したため調査が実施されておらず、その後も長年入洞不可能な状態が続いていたが、今期は一定期間干上がった状態が維持され、3月10日まで調査を行うことができた。この度の調査を通じていくつかの新空間が発見され、連絡洞全体が測量されたことで、秋芳洞の長さはこれまでの約11.07kmから約11.2kmに更新された。

【景清穴での発見】

2月26日の午後、秋吉台アドベンチャーツアーズの村瀬は、籠穴支洞底部の管状通路の水位が異常に低下していることを確認した。直ちに探検したところ、管状通路は入口より約-23mの底部まで完全に干上がっており、洞口の穴の南端部にまで通り抜けることに成功した。2022年3月1日(月)には、村瀬、木村、及び村上の3名が測量を実施した。この発見により、景清穴の長さは、景清穴(約2400m) + 三角田洞(500~700m) + 洞口の穴(1500~3000m) + 新空間(約100m)で、少なくとも4.5kmになることが判明した。

【秋芳洞の照明植生】

秋芳洞の照明は、大正14年に電燈が付けられその後現在まで続いてきた。平成22年には、電力経費の節減や照明下の植生等の面から、LED照明が検討され有効性が大きいことから転換が実施された。その結果、経費は下がったものの、照明下の植生も併せて変化し、蘚苔類からラン藻類に代わり洞窟内植生が著しく変化した。現在、市の文化財保護課でこの藻類の除去等についての検討がおこなわれている。



「景清穴(籠穴支洞の連絡洞入口)」
撮影：村瀬健志



「黄金柱の照明植生」撮影：後藤聡

みんなで美祢市の
自然を守りましょう

会員募集中

美祢市自然保護協会は、国定公園、特別天然記念物秋吉台を核とし、その周辺の自然に親しみ、調査研究して自然保護に努めるとともに、自然保護思想の普及を図ることを目的として設立され、啓発・自然保護活動などを展開しています。

- 市内、市外を問わずどなたでも入会できます
- 年会費：個人300円、団体2,000円

詳しいことのお問い合わせは、美祢市自然保護協会事務局(秋吉台科学博物館内)までお願いします。
TEL:0837-62-0640 FAX:0837-62-0324 E-mail:sizenhogo35@yahoo.co.jp